

新エネルギー視察会(環境・公害対策部共催)

原発に依存しない社会へ

淡路支部ニュース

2011.12.15
No.277

兵庫県保険医協会
淡路支部

〒270-0244 淡路市物部三丁目44
松本区院内
☎0799-2210411



淡路支部は十一月二十三日、環境・公害対策部と共催で新エネルギー視察会を開催。淡路市内の風力発電建設予定地や潮流発電を研究する企業を訪れた(本紙同封の兵庫保険医新聞に参加者感想文を掲載)

Let's...

今年の最終号となりました。そしてちょうど、流行語大賞が発表。「三・一一」を押しえて「なでしこ」だったのは、日本人の明るさ・危機感での不撓不屈の精神性でしょうか? 世界制覇であり、女性軍だったことも。天照大神以来、女性優位の国。

もちろん規模や影響の大きさからいえば、やはり「三・一一」がトップでしょう。日本の原発政策・エネルギー政策(日本だけでなく世界的に)をして経済やわれわれの今後の生活に及ぼすであろう影響力の大きさは測り得ない(私の頭では全く予測できません)。
昨今、私が困っていることの一つが、和のカタカナ四字熟語。イクメン、イクメン、インフル、インフル等(以上、和)。洋では省略三字、T P P、T P

A、T B T、I S D等々。論文の最初が欄外に小文字でも解説を入れていただきたいものである。時には論文の意味・趣旨を間違えるということが起らないとも限らない。

もう一つ困っているのが、今年のお天気。晴雨寒暖の不順、学級閉鎖のみならず学校閉鎖の話も。また、インフルエンザ大流行の噂も。政治とお天気の話は度々。

医療関係、兵庫県そして政治に関しては今年に格別の話題はない模様。ご同慶の至りというべきでしょう。お隣大阪は府・市ともにトップの交代から大阪都構想と当分目が離せない!? 選挙前の報道に比し後のマスコミの対応が少ないように思われますが? 私の今年の流行語の子測は「相定外」だったんですが、やはり想定外でした。
良いお年をお迎えください。
【松本記】

兵庫県保険医協会淡路支部「日常診療勉強会」ご案内

臨床医療に対する社会からの 批判的な眼差し

～医事法(務)学と生命倫理学の視点から～

日 時 2012年1月21日(土)15時～

会 場 洲本市健康福祉館3階

講 師 川崎医科大学産婦人科学講座特任准教授
中井祐一郎先生

参加費 無料 共 催 武田薬品工業株式会社

日進月歩の中で、私ども臨床家は適切な医療実践のために、有形無形の努力を払っている。一方、医療に対する批判的な眼差しがあるのも事実であり、中には首肯せざるを得ないものもあるが、現場の医療者の立場からは厳し過ぎると感じられる意見も多い。まず、最も具体的な場合として民事訴訟を取り上げ、医療者側に見られる姿勢の問題点の吟味を通じて、我々の主張の理解を得るための方策を考える。他方、倫理学とは“より良い在り方”を考える学問であり、法学はその具現化のための方法論であるとも解されるが、生命倫理学の視点から医療に突き付けられた大局的な問題についても併せて考えたいと思う。【中井 記】

.....
お問い合わせは、協会担当事務局 TEL 078 - 393 - 1807 楠(クヌキ)、段林まで

兵庫県保険医協会淡路支部 【FAX返信先 078 - 393 - 1802 楠宛】

2012年1月21日(土)日常診療勉強会に

() 参加する () 都合がつけば

地区 _____ 市 _____ 医療機関名 _____ お名前 _____

田先生の文章が私の心を打った。

医科歯科薬科交流企画「日常診療における睡眠(呼吸障害への対応)」では、私は不眠症なので、谷口忘先生(大阪回生病院睡

眠センター部長)の話が印象的だった。

日常診に出席した理由に、併設企画「わたしとあなた」の展示会があった。私は白山登山での写真とイグアスの滝、マチュピチュ等南米



「白山(石川県)より早朝の室堂平を望む」

(仲野先生撮影)

旅行の写真を出品した。芸術的には難点があったが美しい写真で興味を示してくださったと思う。淡路からの参加者はあまりお見受けしなかった。

「患者満足度の把握にアンケートを実施して」の演者である高田裕先生(淡路支部長)にお会いし、参加の労に対するお礼を言ってくださったのがありがたかった。

(次号に続く)

投稿を募集しています!!

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや主張など、テーマは問いません。地域色豊かな話題を淡路の会員の先生方で交流したいと思います。医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。

【FAX】 078-393-1802

【E-mail】 kusunoki@doc-net.or.jp 淡路支部担当 楠 まで



インターネットで保険医協会へアクセス!!



★情報満載!兵庫県保険医協会ホームページ

<http://www.hhk.jp/>

★会員専用のメーリングリストを開設しております。

登録いただける方は下記までお知らせください。

e-mail: hyogo-hok@doc-net.or.jp

会員投稿

学術集会へ出席しよう①

洲本市 仲野 秀介

私も満七十五歳になり、健康保険の後期高齢者の仲間入りをした。物忘れもひどくなり、認知症の症状も出てきた。保険医協会新聞の原稿を出したことはないが、松本先生が「レッツ」の原稿を毎月出しておられるその行いに対して非常に敬意の念を持っているので、私も協力して下手な文章を書きことにした。

題して「学術集会へ出席しよう」。すべての「集会」という行事は、人が集まるということが非常に盛会になる要素だ。私も国際ロータリーの集會を主催して人を集めるのに苦労した経験があるので、集會にはなるべく参

加することになっている。暇なんだろうと思われるかも知れないが、決してそんなことはない。寸暇を惜しんでいる。人の倍の活動量があると自負している。

▼一〇月二六日〓南あわじ市医師会臨床談話会「日常診療で考える緩和ケア 不眠・抑うつ・不定愁訴の対応」(県立淡路病院・青山慎介先生)

私も不眠・抑うつ・不定愁訴を持っていてるので、この話は大変役に立った。精神科の診療は患者と対話をたくさんすることだそう。不眠で困っているから睡眠薬をたくさん飲んでいて

で止めようと思うと言ったら、止めて睡眠不足になり体調が悪くなり、日常の活動に影響するようなら無理に止めなくてよいということだった。

終了後、高田育明会長より「遠いところよく来てくださった」の意味の挨拶があり大変嬉しかった。

▼一〇月三〇日〓保険医協会第二十回日常診療経験交流会

神戸・元町の農業会館へ行ってきた。シンポ「東日本大震災の被災地医療を考える」が行われた。被災地のこ

とはテレビ等で放送されており皆様御存知なので詳しいことは書かないが、岩手県大槌町植田医院院長の植田俊郎先生の話は次の通り。医療行為というより、患者さんの状態にあわせて搬送先を決める活動が主であっ

たこと、先生自身二人の血液透析患者に付き添いヘリコプターで青森県三沢市に搬送し、八戸日赤病院に無事収容できたこと、先生の診療所は低地にあったように、先生の家族、従業員は病院の屋上に取り残され、その後、雪がちらつきはじめたので、四階の和室に移動。先生は山登りの経験者(エキスパート)であり、何かと不便はあったが、山のビバーク(緊急露営)を考へればこれほど贅沢な環境はなかったこと、などが語られた。

「私はすでに山登りの装備を身に着けており、下着から冬山仕様である。皆もダウンジャケット、コート、雨具、ウインドブレーカーなど適当に身に着けている。寒くはなさそう。何も怖くはない。『生きてやる』と思った」という植